

3 親と子どもの豊かな育ち

ねらい

地域や家庭の教育力の向上を図るため、「親と子どもの豊かな育ち」をスローガンとし、学力向上も踏まえた「生活リズムの向上」、非行防止につながる「規範意識の向上」、有害情報等や登下校時の危険から子どもを守るための「安全・安心」の三つの柱を重点においた取組を進めています。

現状と課題

○ 生活リズムの向上 － 基本的生活習慣の改善－

平成19年度から3年間「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動の実践的な取組として、「学ぶちからも、くらしのリズムから」をテーマに、市内全ての公立保育園・幼稚園、小中学校において、「子どもの生活リズム向上事業」を推進してきました。

平成22年度は、生活リズムを向上させる実践力を身につけるために、希望する小学校を対象に実践テキスト(生活リズムモンスター攻略ブック)を活用し、子ども自身が目標を立て、家族とともに生活リズムの向上に取り組む活動を行いました。また、中学校では、生活実態調査等を行い生活リズムの改善に向けた取組を行っています。

実践テキストによる取組前後の比較 (対象：小学校25校)

■ 市が実施した生活実態調査や各種調査からも、生活リズムが子どもたちの心身に影響を及ぼすことが明確となったことから、より一層の具体的な働きかけが必要となっています。生活リズムが大切であるという意識は、相対的にみてかなり浸透してきました。

しかし、大切さはわかっても実践に繋がらない現状と各地域における温度差がみられるため、今まで以上に実践につながるような啓発とともに具体的な取組を展開していく必要があります。

朝食摂取

	毎日	大体	あまり	食べず
前データ	1481	136	37	8
減る	0	73	26	5
変化なし	1455	62	10	3
増える	26	1	1	0

起床時間

	6時前	6時頃	6時半	7時頃	7時半	合計
前データ	166	526	728	222	20	1662
早くなる	0	82	237	122	11	452
変化なし	110	362	445	99	9	1025
遅くなる	56	82	46	1	0	185

ゲームをする時間

	しない	30分	1時間	1時間半	2時間	合計
前データ	487	397	364	195	219	1662
減る	0	100	157	109	89	455
変化なし	387	266	170	72	130	1025
増える	100	31	37	14	0	182

テレビを見る時間

	みない	1時間	2時間	3時間	4時間	合計
前データ	82	284	480	446	370	1662
減る	0	28	176	211	160	575
変化なし	61	210	254	198	210	933
増える	21	46	50	37	0	154

就寝時間

	9時より前	9時～9時半	9時半～10時	10時～10時半	10時半～11時	11時～11時半	11時半～12時	12時より後	合計
前データ	107	405	404	347	218	99	52	30	1662
早くなる	0	58	140	176	130	71	34	18	627
変化なし	87	293	218	126	76	24	17	12	853
遅くなる	20	54	46	45	12	4	1	0	182

○ 規範意識の向上

－非行等防止対策－

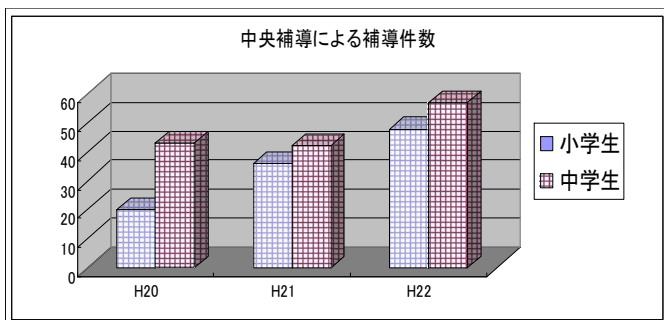
少年犯罪の低年齢化が懸念される中、実施希望の学校園や地域を対象に、非行防止教室や生活リズムに関する講座を実施しています。また、保護者や地域住民を対象に家庭教育や非行等をテーマとする出前講座も行っています。

学校園別	実施校園数	こども	保護者等	参加者人数合計
幼稚園	5	212	113	325
小学校	9	1114	0	1114
中学校	6	1444	0	1444
計	20	2770	113	2883

学校園別	実施校園数	こども	保護者等	参加者人数合計
幼稚園	4	116	340	456
小学校	4	319	45	364
地域	2	8	75	83
計	10	443	460	903

－補導活動－

補導活動は、青少年の非行や問題行動を未然に防止することを目的に、公園、駅、カラオケ、ゲームセンター、大型店舗など青少年の多く集まる場所を巡回しています。



■ 平成22年度は全体の補導件数（233件）中、小中学生は105件と全体の約45%を占めています。昨年度に比べ小・中学生の補導件数が増加しています。特に、午後6時以降に、小中学生がゲームセンターへ出入りすることや中高校生、有職・無職少年のカラオケ等での喫煙が課題となっています。

○ 安全安心 －子どもの安全安心対策－

パソコンや携帯電話についての安全な利用方法やマナー・ルール等を周知するEネット講座とともに、保護者や全ての教職員を対象に有害情報等から子どもを守るための研修会を開催してきました。また、地域ボランティアの方々等を中心に、県から任命された登下校安全指導員と連携して、登下校時等の子どもの見守り活動を計画的に行っています。

学校園別	実施校園数	こども	保護者等	参加者人数合計
小学校	1	0	40	40
中学校	6	2293	0	2293
地域	7	0	345	345
計	14	2293	385	2678

■ Eネット講座等の開催や啓発パンフットの配布など、有害情報等の対策について、啓発活動を展開しています。しかし、現状のネットトラブル等については大人の認識が薄く、今後、地域や保護者に対して講座等の利用について、さらに周知を図る必要があります。

今後の方向性

- 平成19年度からの「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動の実践的な取組及び啓発活動により、子どもの生活リズムの大切さが浸透してきました。今後は、家庭教育を中心に学校教育との連携を図りながら、地域全体で子どもたちを見守り、育成する体制をさらに醸成していく取組を推進していきます。
- 「規範意識の向上」や「安全安心」にかかる有害情報対策等について、まずは、子ども自身の意識向上を図っていきます。それとともに、保護者や地域への出前講座などを通して、現状の課題や対策についての情報発信や啓発などを行い、家庭における取組についても協力していただくよう働きかけていきます。